

# Report

## 障害者の文化芸術国際交流 2018 ジャパン × スウェーデン プロジェクト レポート

### 「障害と芸術に関する国際フォーラムー社会・文化イノベーション対話フォーラム」

6月3日（日）13:00～16:30に開催し、約70名が参加しました。「日本とスウェーデンの文化交流の可能性」「作品の生まれるところ」「表現と人権」という3つのテーマで日本とスウェーデンの専門家9名がスピーチを行いました。



国際フォーラム会場：スカンディック・スター・ソレントウナ



国際フォーラム会場の様子

### 記念対談「障害者の文化芸術の可能性について」

久保厚子さん（全国手をつなぐ育成会連合会会長 / 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク会長）らとスウェーデンのヘグウィク特別支援学校の教員と保護者が、障害のある子どもを持つ親として共通して感じることや芸術作品の魅力などについてお話しされました。



記念対談「障害者の文化芸術の可能性について」



記念対談「障害者の文化芸術の可能性について」

### 記念プログラム（関連プログラム）

#### パーソナルアシスタンス研修会、日本とスウェーデンのJCI公開ミーティング

スウェーデンで初めてパーソナルアシスタンスを実施した当事者であり活動家のベンクト・アルメン氏を講師に、パーソナルアシスタンスの現状や課題などをお話しいただき、日本の福祉関係者を中心に39名が参加しました。

また、スウェーデンと日本のJCI公開ミーティングでは、両国の代表者らが、今後障害者の文化芸術に取り組むにあたり何ができるのか意見交換され、スウェーデンと日本から43名が参加しました。共生社会を目指し、障害者支援と文化をつなぐ試みについてそれぞれの考えやアイデアが共有されました。

期間中は、日本から約60名がスウェーデンを訪問し、現地の特別支援学校やアトリエ、精神科病院等の視察にまわり、現地の福祉や美術、医療関係者との交流が図られました。



パーソナルアシスタンス研修会



JCI公開ミーティング